

# ダイアログの可視化

今回は“ダイアログの可視化“について話をしていきます。

可視化とは、文字通り見えるようにするということで、ダイアログの場に生まれた言葉やイメージを自分にも相手にも見えるようにすることです。ホワイトボードや模造紙、ポストイットなどに描きながら、ダイアログをしている人たち全員で言葉やイメージを共有して見えるようにします。

例えばAさんが『あ』と発言したものを、Bさんが模造紙に『あ』と描いて、それを見たCさんが『あ』と認識する、そんな流れです。とってもシンプルなことなのですが、これがあるかないかでいうと、ダイアログの難易度が全然違ってくるのです。

イメージとしては、学校で先生が黒板に描いてくれていたもの、つまり『板書』がわかりやすいものですね。もし先生が教科書を読みあげるだけで黒板に描かずに進めたら、クラスみんなの認識はどれくらいバラバラになったでしょうか。ノートを取り方自体に個性があるとしても、共通認識の度合いに大きな違いが表れたと思います。

この可視化は、ダイアログの場に1番導入しやすく、しかも効果が出やすいもので、例えば職場にホワイトボードを準備し、ミーティングの時は必ずそれに書き込みながら進めるだけで、場の進み方や参加者の認識が変わってきます。手元にあるご自分のノートに自分用の記録を取ることとても重要なのですが、みんなでひとつの場所を見ながらミーティングを進めると、変わってくるものがあります。

WORD JUNGLE のポストイットの役目も頭の中にある言葉を可視化して、その場の人たちと共有するための役割がひとつあって、もうひとつは脳内の混沌の状態を山盛りになったポストイットで表すという役割があります。

可視化する目的は、ダイアログの最中に生まれた言葉やイメージなどを共有しやすくすることです。その場に集う人の価値観や経験などは様々で、全く同じ経験や考えを持った人など存在しません。違うことが前提です。なので、その場に生まれた言葉たちを共有しやすくするために可視化していきます。

あなたの日常の中にもたくさんの可視化されたものたちがあります。もともとは口頭で説明していたものを説明文にしたり、それをイラストで伝えたり。そうすることで伝えたい人に伝えやすくしてあります。なので文字だけでなくイラストや写真、模型なども可視化といえるものですね。

ダイアログの場で生まれた言葉をホワイトボードや模造紙に描くポイントは、その場に生まれてくる言葉をリアルタイムにそのまま描くことです。書記役を担うのなら特にですが、発言者の言葉が空中に飛んでそのまま消えてしまわないように、その人の発言を可能な限り拾い上げ記入します。

でも、清書でも速記でもありません。よく、最後にまとめてキレイに描こうとされますが、それは議事録をつくる時に行ってください。逆に、一言一句拾い上げて描こうとする方もおられますが、すべて記録したい時はレコーダーをお願いすることを勧めします。

なので、書記役の人は発言を要約しながらホワイトボードや模造紙などに記入していくのですが、長めの発言を要約する時は、ぜひ発言者に確認をとってみてください。言葉の表現の仕方ひとつで、全然違う意味に捉えられることも多々ありますし、発言者にとって正しく表現できる方が、共通認識の度合いが高まりますので。

あと、発言者を記さずに、場に生まれた発言として描かれることをお勧めします。たまに発言者を記さないと行けない時もありますが、それは記録係とレコーダーにお願いして、ダイアログのための可視化では、場で生まれた大切な言葉たちを空中で消さずに場の言葉として共有することが重要なので、発言者を記すとその言葉自体が生まれにくくなる可能性があります。

それと、その場の目的やゴール、議題やメンバー、ルールや終わりの時間などをホワイトボードや模造紙の片隅、もしくは紙に描き出して貼っておくと、その場に集ったみなさんに共通の認識が生まれやすくてとってもいいです。

改めて言いますが、目的は、ダイアログの最中に生まれた言葉やイメージなどを見えやすくすることであり、キレイに描くことではありません。字が汚いから描きたくないとか、絵が下手だから描きたくないとか、そんな話ではないのです。

とはいってもキレイに描きたいですね。僕もそう思います。でもやった分だけキレイに描けるようになるということも僕は体験しました。あくまで自分にとってキレイかどうかですけどね。どうやったらその場にいる人にとって見えやすい文字になるのか。使う色はどんな色がいいのか。

例えば丸文字よりは四角文字で漢字を大きめに描いた方が離れている人から見えやすいです。ホワイトボードを使う時には、基本の文字は黒、タイトルやスペースを分ける時には青、ポイントや時間に関するものは赤という風に僕は色を分けながら使っています。

センスは経験に比例する。これは家業に就いていた時にデザインの分野で出逢った言葉ですが、まさにそうだと思います。やり続けることで手に入れることの出来るものたちもたくさんあります。

なので、まずはタイミングをつくって、ご自分で体験をしてみてください。実際にダイアログの場でもいいですし、もしくはテレビや映画の音声を聴き取って書き記してみるというのもいいですね。

メンバーの要望にもよりますが、ホワイトボードや模造紙に描いたものそのものを写真に撮って議事録として共有すればいいので、議事録の作成をあまり好まない僕みたいな人間にとって、とってもありがたい存在です。

読み終えた感想や質問、実践のシェアなどは、ぜひ下記の URL から「みんなのダイアログ」へご投稿お願いします。またそこで一緒にダイアログしていきましょう。

みんなのダイアログ

<http://cobaken.net/webdialog/index.php?qa>